北相模総守護社 亀ヶ池八幡宮

社報 亀ヶ池

第19号
新社殿特集号
平成27年7月1日発行

奉祝大祭 奉幣の儀

赤誠溢れる御厚意に感謝

亀ヶ池八幡宮 宮司 根岸信行

亀ヶ池八幡宮では昨年、鎮座八百年という佳節を迎えました。

鎌倉時代、西に大山丹沢の山々を見晴かし、清き相模川の流れに恵まれたこの上溝の地に鎮座して以来、地域社会における融和の象徴として綿々と発展し続けてきた当八幡宮は、霊験あらたかな由緒ある神社として広く尊崇を集めて参りました。

東京オリンピックが開催された昭和三十九年頃より、当八幡宮の鎮座する相模原市は東京近郊の市街地として急速に発展し、また近年では東京外環自動車道の開通やリニア中央新幹線の駅設置が市内に決定、さらには小田急多摩線が相模原上溝駅までの延伸計画など発展の一途を辿っております。今では地元だけではなく県内外からも参拝の方々が多数訪れるようになり、初詣や七五三参りなどの時期には昇殿参拝をされる方も増えております。

このような状況で社殿の拡張が望まれる一方、今後発生が危惧されている地震や自然災害への対策も課題となって参りました。そこで現況に鑑みて当八幡宮の将来を見据え、佳節にあたり「平成の御社殿・御神門等御造営」と銘打ち記念事業を実施、本殿・幣殿・拝殿と神門の修造を進めることとなった次第であります。

おかげをもちまして事業は昨年七月に無事予定通り竣功し八月二十日に本殿遷座祭を厳粛に斎行申し上げ、今年の三月二十一・二十二の二日間に亘り、竣功奉祝大祭を盛大に執り行うことができました。

これも御祭神の御加護はもとより、経済的な状況が厳しい時節にも拘らず偏に当八幡宮を尊崇される氏子崇敬者皆様方の赤誠溢れる御厚意によるものと、衷心より感謝申し上げる次第です。

私ども神職は、北相模の総守護社としてさらなる御神威の発揚に努めて参る所存です。御奉賛いただきました氏子崇敬者の皆様方、並びに建築に携わった業者の方々、さらには奉賛役員の皆様方に深く感謝申し上げ、御挨拶と致します。

祝祭日には国旗を掲げましょう

発行／亀ヶ池八幡宮社務所　〒252-0243　神奈川県相模原市中央区上溝1678　TEL.042-751-1138　FAX.042-757-3811
URL http://www.kamegaike.jp/　E-mail:info@kamegaike.jp

御鎮座八百年奉祝記念

平成の御社殿・御神門等御造営 御神苑造成 特別調度品 奉賛者御礼報告

最終回

平成の御社殿・御神門等御造営並びに御神苑造成、特別調度品の御奉賛を賜りました氏子崇敬者皆様に感謝申し上げ、左記にご芳名を掲載させて頂きました。御奉賛者皆様のご多幸とご隆盛をお祈り申し上げます。

●壱拾萬円
坂本　貞之（中央区田名）

●伍萬円
岡田　翼（平塚市宝町）
㈲北村工芸（中央区上溝）
坂本　達之（中央区田名）
谷山　敏治（座間市さがみ野）

●參萬円
坂本　晴美（中央区田名）
座間　直（南区下溝）
新田稲荷神社（中央区共和）
日枝神社（中央区淵野辺本町）
宮崎　信雄（中央区上溝）

●弐萬五阡円
村場　育子（緑区大島）

●弐萬円
大野　寛次（中央区上溝）

●壱萬円
天野　正男（中央区淵野辺本町）
石井十太郎（中央区星が丘）
石森　市郎（中央区上溝）
㈱インペリアルクラフト（中央区上溝）
大竹　三郎（中央区上溝）
大塚　孝作（中央区上溝）
金子　三郎（中央区上溝）
㈱ユーケーテクノス（南区新磯野）
木下　信隆（中央区上溝）
小林　義人（中央区鹿沼台）
坂本　節子（中央区田名）
笹川　博之（中央区陽光台）
座間真佐美（中央区陽光台）
白土　寛貴（中央区上溝）
菅原　弘一（中央区陽光台）
髙橋　文枝（中央区上溝）
㈱東京エムシー（東京都多摩市）
㈲富秀建材（中央区弥栄）
中嶋　萬（中央区青葉）
中嶋ノブ子（中央区青葉）
橋本　榮次（中央区並木）
細谷　浩（中央区淵野辺）
横井　洋子（中央区小町通）

●伍阡円
秋山　裕二（中央区光が丘）
安藤　博庸（中央区並木）
石本　智憲（座間市相武台）
宇波　郁道（中央区並木）
岸野　茂男（東京都日野市）
君塚　郁夫（大和市西鶴間）
小林　辰夫（中央区上溝）
清水　弘文（中央区富士見）
荘田　正治（中央区上溝）
谷山　卓也（愛甲郡愛川町）
長島　俊司（南区当麻）
中林銀四郎（中央区上溝）
畠中　正樹（中央区上溝）
原田　厚郎（中央区陽光台）
廣中　康二（横浜市旭区）
堀内　修（中央区南橋本）
堀口　恭子（中央区横山）
松原　靖典（中央区陽光台）
松本　忠（中央区並木）
山口　隆紀（緑区橋本）
渡邊　誉也（新潟県三条市）

特別調度品
●伍拾萬円
（学）桐生学園（中央区星が丘）

（敬称略）

平成二十六年十二月から平成二十七年六月末日まで社頭にて受付分を掲載致しました。

根岸信行宮司 階位浄階・身分一級に昇進

3月1日発令にて、当八幡宮根岸信行宮司に階位浄階並びに神職身分一級が授与せられ、去る3月24日、神社本庁に於て証書授与式が行われました。

根岸宮司は、昭和38年8月に当八幡宮禰宜、昭和41年に大島諏訪明神・下九沢御嶽神社宮司に就任、更には根岸萬壽前宮司の後を引き継ぎ平成4年亀ヶ池八幡宮並びに市内13社の奉務神社の宮司を拝命し、爾来神明奉仕に努められており、また当八幡宮においては平成6年社務所・参集殿、平成7年石造大鳥居、平成13年神楽殿、平成26年社殿・神門・神苑等の造営並びに境内整備に尽力されております。

この長年に亘る祭祀の厳修、御神徳の発揚等に貢献されたことにより、この度の昇級となったものです。

向後、斯界興隆の為、一層ご活躍されることが期待されます。

社頭の様子［上半期］

平成27年2月3日 節分祭豆撒き神事

平成27年新年 初詣

平成27年6月27日
夏越大祓式茅の輪くぐり神事

平成27年5月24日
一心泣き相撲「第5回亀ヶ池場所」

ご案内

平成二十七年例大祭斎行

ご創建以来連綿と絶えることなく斎行されている当八幡宮の例大祭を、左記の通り執り行いますので、お気軽にご参拝ご観覧下さいますようお知らせいたします。

日時…平成二十七年九月二十日（日）

●例大祭（御社殿）……午前十時斎行

七五三祝児無事成長祈願祭

七五三祝は、古くは平安時代より公家の間で行われ、江戸時代に入り庶民に広まったものです。当八幡宮では、十月初旬頃より十一月末までお子様の健やかな成長を願って七五三祈願祭を斎行いたします。なお、**すこやかパック**（貸衣装・美容・着付・写真）の展示予約会を行います。ご祈祷同様ご希望の方は当八幡宮社務所へお問い合わせ下さい。

●ご祈祷・すこやかパックの予約受付
…八月より

●ご祈祷時期…十月より十一月末

●すこやかパック展示予約会日程
9月5日・6日・12日・13日・19日・21日・22日・23日・26日・27日
10月3日・4日・10日・11日・12日

平成二十八年新年祈願祭受付

「一年の計は元旦にあり」人は皆新年を迎えると、希望や夢をふくらませ、神社に初詣されています。

当八幡宮では、無料大駐車場を完備し、初詣の皆様をお迎えしています。

家内安全・厄除け・商売繁盛・交通安全等のご祈祷予約を十一月より受付けいたしますので、当八幡宮社務所へご連絡下さい。

※お申し込み・お問い合わせは亀ヶ池八幡宮社務所　TEL.042-751-1138　FAX.042-757-3811へお願いいたします。

御鎮座八百年奉祝記念事業

悠久の時を超え麗しく竣功

当八幡宮では平成二十三年から、鎮座八百年を奉祝する記念事業として「平成の御社殿・御神門等御造営」に着手し、社殿・廻廊・神門の造営と境内整備などを進めて参りました。社殿造営では平成二十四年十二月に仮殿遷座祭、翌年三月に地鎮祭、八月に立柱祭、十二月に上棟祭を斎行。平成二十六年八月二十日には本殿遷座祭を執り行いました。

本殿遷座祭は午後七時から斎行され、木綿蔓に木綿襷姿の根岸宮司以下神職が奉仕。仮殿となっていた儀式殿へと参進し、奉遷用具、奉仕員を祓い清める川原大祓ののち、根岸宮司が祝詞を奏上しました。

召立の儀ののち、威儀物を手にした各所役が整列すると境内の明かりが消され、禰宜の鶏鳴三声に続いて出御。浄闇のなか渡御列が新たな本殿へと進み、入御ののち明かりが灯され、献饌、祝詞奏上、「浦安の舞」の奉納に続いて根岸宮司らが玉串を奉って拝礼を行いました。

奉祝大祭を斎行し境内では奉納行事

「平成の御社殿・御神門竣功奉祝大祭」は三月二十二日午前十時から斎行され、修祓、宮司一拝、献饌に続いて根岸宮司が社殿の竣功などを奉告する祝詞を奏上。斎行後には、建築関係業者並びに奉賛者への感謝状贈呈式があり、来賓の田中恆清神社本庁総長は「歴史に残る竣功の日を見事に迎えました。八幡大神の御神徳は広大無辺で全国に遍く輝いています。亀ヶ池八幡宮の新たな取り組みにより、愈々八幡神の御神威が高まっていく。」と祝辞を述べました。続く祝賀会では、根岸宮司が整備事業に対する協力に謝意を表しました。

当八幡宮の境内では事業の完遂にあたって、様々な奉祝行事が繰り広げられました。

奉祝大祭前日の「宵宮」では午前十一時から稚児行列が行われたのをはじめ、神刀流神刀館が剣武道演武を奉納。相模女子大付属高校茶道部の野点や光明学園相模原高校和太鼓部の勇壮な和太鼓演奏、また同市出身の演歌歌手による余興が賑々しく行われました。

翌日は奉祝大祭ののち、同市・諏訪明神（根岸宮司）で奉納される獅子舞の披露や相模女子大付属高校箏曲部による箏曲の演奏があり、夕刻には横浜雅楽会による「舞楽・雅楽のタベ」が開催されました。

神苑の神池「亀ヶ池」

神門から社殿の夜景を臨む

社殿の装い新たに廻廊・神門も竣功

昭和初期に造営された本殿の覆殿並びに拝殿は、80余年の風雨によって雨漏りや土台の腐食など老朽化が進んでいたことから、当八幡宮では平成15年より鎮座800年の佳節に向けて修造事業を計画。平成23年に御造営奉賛会を設立し、地元氏子はもとより市内外へ広く募財活動を展開してきました。今回の事業では、本殿・幣殿・拝殿を造替するとともに廻廊及び神門を新築しました。建築面積を拡張して造営し、床面積は以前の倍近い約390平方メートルとなっています。

尚、本殿西側に位置する神苑の造成事業も完了しており、清らかな水を湛えた神池「亀ヶ池」が6月に完成しました。

社殿を臨む

社殿内